元・長生村長

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2017年 10 月第 118号
石井としお後援会発行
部内討議資料
長生村七井土 1387-2
電話 090-3094-0321

村づくりアンケート始めました

今年も異常気象が続きました。当初は梅雨空もなく「夏空と高温」が続き、東京では８月期、雨が２７日間の最多で日照は平年の半分でした。一松海岸の海の家も３軒しか開かれず、楽しみにしていた地曳網も少ない回数でした。今回の通信は６月議会以後における石井としおの活動報告となります。別紙として、村づくりアンケートを通信に織り込みました。来年の４月には村議会選挙が予定されますので、後援会としてご意見・要望を頂き活動に活かしていきたいと考えています。

長生村で稲刈り・お疲れ様

８月に入ってから長雨が続き、先行きが心配されましたが、下旬から晴れが戻り、稲刈りが始まりました。あと一週間雨が続けば稲刈りも厳しかったと思います。農家の皆さんにお聞きすると「８月の長雨で心配だったが、やっと、どうやら刈り取りができている。昨年より米の買取り価格が高いので救われる」との声でした。作柄も平年並みとのことでした。地元産の美味しい新米を今年も多くの方が味わえるのは幸せなことだと思います。

七井土防災無線局設置住民説明会役場で開く
7 月 30 日

総務課 平成元年より３０の防災無線局を設置した。平成２７年より音声の（聞こえ方の）調査を行い、金田、市ヶ谷に増設し今回七井土に一つ設置する。来年は長生団地に設置する予定。基地局からの音声は 300 ㍍まで届く。場所は関工業所の近くです。

質問 七井土のつるし地区では「無線が聞こえない」という声があります。改善をお願いしたい。今回の基地局設置の工事費は借金なのか、交付税参入はありますか。

総務課 つるし地区については今後調査を行いたい。工事費は 400 万円、財源は起債（借金）。交付税参入（国から戻ってくるお金）は 80％です。工事期間は一週間です。12 月に完成予定です。

原爆の絵展を開催

８月 3～5 日まで第 5 回長生村原爆の絵展が文化会館で開催されました。今回は広島の子供達が平和を願って書いた絵が展示されました。「平和を願う・読み聞かせ」の企画もありました。

―広島の子供たちが画いた絵―

「参加者の感想」

〇戦争は二度としてはいけないと思いました。涙がとまりませんでした。

〇原爆の絵展は続けてほしい。子供達に、もっと知ってほしいと思いました。

〇新聞を見て千葉からきました。平和な世の中が続くことを祈っています

〇原爆の絵展をこれからも続けてほしい。村にも戦争の歴史があったと思います。調査し展示してほしい。

七井土で盆踊り大会開催

８月８日

七井土で毎年開催される盆踊りに参加しました。当日、村の盆踊りとも重なりましたが、地域の皆様がご家族と一緒に太鼓や踊りで盛り上がり、屋台の美味しい焼きそばなども楽しみました。入念な計画・準備、運営の皆様お疲れ様でした。

長生村少年の主張大会

９月２日、長生村文化会館ホールで第 5 回長生村少年の主張大会が開かれました。小学生３名、中学生１１名が自分の考え、村のこと、将来のことなどについて意見を発表しました。小学６年生、中学校全生徒が会場を埋めました。印象に残った発表を紹介します。

発表　村は海があり環境が良い所です。3.11 地震災害も経験しました。今後、災害があれば下級生を連れて避難したい。父になったら命の大切さを子供に教えたい。県で一つの村を 100 年先まで残したい。(小学生)

発表　皆さんは友達がいますか、八積小ではイジメゼロ集会を行いました。４つの勇気を考えた。①やめる勇気②つながる勇気③認める勇気④正直に話す勇気です。私も友達に勇気をもって話してみたら仲直りができた。(小学生)

発表　地域のつながりが大事だと思います。挨拶を通じて会話がうまれます。私は「こんにちは、なにかやることはありますか」と声をかけています。(中学生)

発表「戦争は繰り返してはいけない」と思

います。戦争を経験している日本人は世界平和を呼びかけることです。世界中の人が同じ青い空を見られるようにしたい。
(中学生)
※700 人の聴衆を前にして、自分の主張を発表した 14 名の皆さんの態度が堂々としていて感心しました。また、発表の内容も身近なことから社会に目を向けたものまでよく考え練られていて尊い意見だと思いました。皆さん立派でした。この経験は必ず将来に活きてくると思います。企画運営、ご指導の関係者に敬意を表します。

長生村でオリーブ栽培を開始

長生村でオリーブの栽培を始めている金子健一さん（前衆院議員）にお話しを伺いました（8 月 5 日）。

金子さん 「有休農地の解消ができればと考え、房総オリーブの事業を初めました。まずは長生村と睦沢町に植え付けを行い、今後も栽培面積を増やしていきます。オリーブはヨーロッパから始まり健康志向で人気があり、先行き需要が伸びていくと考えます。米を作るよりも収益が高く、兼業農家でも十分可能です。１次～６次まで行う６次産業も考えています。今年で 1.6 ㌶。今後は毎年１㌶ずつ増やす計画です。草刈、収穫などで雇用がうまれます。」
※村では「そばクラブ」の方々が遊休地解消に向け頑張っています。続いて遊休地の解消につながればうれしいことです。雇用が生まれるのもうれしいですね。

市民連合憲法講演会　９月３日

大網白里市保健文化センターで、衆院 11 区市民連合主催の憲法学習講演が開かれました（講師：千葉県弁護士会会長の高橋勲さん）。話の概略は「安倍総理の、憲法 9 条に自衛隊を明記するという改憲案は、ただ、自衛隊の存在を認めるというだけではなく、自衛隊を外国に出動させ戦争することができるもの」とのことでした。

安保法の強行採決以来、自衛隊がアメリカ軍と共同演習するなど、自衛隊が外国に出て活動できる下地を着々と積み上げている中での話は説得力がありました。憲法を変えさせない、そのためには「今後、市民と野党が結束し、統一候補を作り戦うことが大事です。」とのことでした。当日、会場にお越しの、予定候補 T 氏と S 氏に決意のことばとご挨拶をいただきました。

大議のない解散・選挙

９月の終りに、急に衆議院解散の話が出てきました。解散の大義はなく、ただ、現政権の数々の疑惑を隠すために解散する（選挙費用の税金約 600 億円）のではと考えられます。国民の声を聞かず、国家を私物化し驕りたかぶる安倍政権の暴走を止めるために野党が話し合い候補者を一本化して与党と戦う態勢を築かなければなりません。

秋田県大潟村を訪問
～農業視察
7 月 8-10

秋田県に大規模米作農業を見に行きました。東北道・秋田道を経て秋田市に到着。さらに走って大潟村に入りました。

大潟村は見渡す限りの田園でした。戦後、国は食料増産の方針にそって八郎潟を干拓し 600 軒の農家を受け入れ米作りが始まると、今度は「減反政策」となり裁判になったなどの歴史があります。平均耕作地 15㌶で、農地はおおむねまとまってあり効率的です。「後継者はいる」とのこと。干拓事業はオランダから技師を呼び工事を進め、海抜マイナス１ｍの土地が出来上がりました。

米作は大きな転換点に

国策に振り回されてきた米作は、今、大きな転換点です。約 50 年続いた「減反」政策は終り来年からは〇国が生産目標の配分をやめる、〇10㌃あたり 7500 円の補助金がなくなります（主食用米以外への転作の補助金は残る）。14 年度から飼料用米への転作の補助金が引き上げられて生産量が増えたため新米の値段は下げとまりましたが、国内 750 万㌧あまりのコメの消費量は年平均８万㌧ずつ減り続けています。さらにアメリカが脱けたとはいえ TPP の協議は続いています。後継者不足、高齢化、大規模化推進、など問題が山積です。大規模化にも耕作地の散在、担い手の不足や高齢化、資金面など多くの面で課題があります。大潟村に見る大規模化、は農地の集中においては参考になるものがありました。

後援会 ブドウ狩り
8 月 26 日

大型バスで山梨にブドウ狩りに行きました。途中渋滞もなく到着。たわわに実った美しい光沢の巨峰に触れ、歓声をあげながら大きな房を切り取りました。今年も園主の丸山さんの真心をこめた丹精のおかげで美味しく仕上がったブドウを心ゆくまで味わうことができました。参加者全員大満足でした。石井の友人である丸山さんは高齢となり引退、今年から息子さんが後を継いでいますが、代わらぬ味に舌鼓を打ちました。夕方６時前には帰ってきました。参加された皆さん、お疲れ様でした。

編 集 後 記

〇近隣の議会を傍聴しました。長柄町では議員と執行部が一次質問以外は「すり合わせをせず」に質疑をおこなっていてとても新鮮でした。長南町では人口減少対策への質問に対して執行部から「コンパクトなまちづくりや、合併も一つの選択である」との答弁でした。白子町では「健幸ポイント制を開始。当初、募集で 500 人を目標としたが 1000 人を超え、町内を散歩する方が増え、成果が出ている」とのことでした。

〇衆議院選挙が 10 月 22 日に投開票のようです。候補者の主張をよく聞き「戦争をしない、くらしを守る」人を選びたいものです。投票に行きましょう。

〇この通信は年会費 1000 と募金で発行しています。会員募集中です。